

いろはにスマホブック

・ ・ ・ ・ ・
安定利回り投資術

NISAと併用OK！
意外と知らない3商品



いろはにマネー編集部

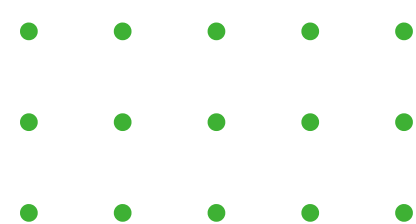
当サイトの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。
また、まとめサイト等への引用も禁じます。

情報は2024年7月時点のものです。

本書籍は特定の商品への投資を推奨するものではなく、情報提供を目的としたものです。投資は各自の判断・自己責任にてお願いいたします。

Copyright(C) Investment Bridge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

はじめに



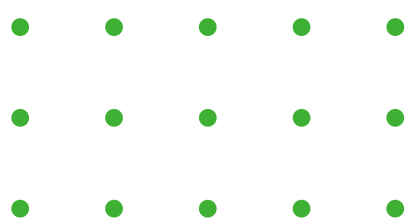
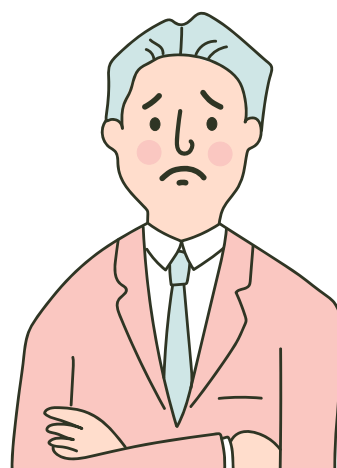
2024年から新NISAが始まり、積立投資は主流となりました。NISA口座で長期積立投資をしつつ、継続的に安定した利回り・配当金も欲しいというニーズから“高配当株”も人気を集めています。

高配当株のように、資産を保有することで定期的に得られる利益のことを「**インカムゲイン**」といいます。

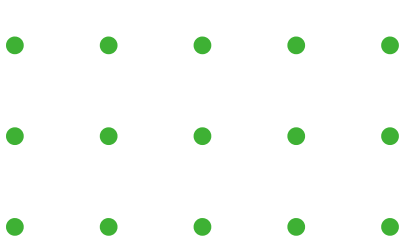
インカムゲインを組み合わせた**安定利回り投資**には、**ポートフォリオを分散させ、リスクを減らす役割**もあります。

将来のためだけでなく、**今の生活を豊かにするためにも安定利回り投資は役立ちます。**

本書は安定利回り投資の特徴から活用法、人気商品まで5分程度で簡単に読めるスマホブックとなっています。**最後にはお役立ちリンク集も掲載。**ぜひ本書の内容を実践し、あなたの資産運用にお役立てください。



目次



03

.....

安定利回り投資とは？

04

.....

安定利回り投資の種類

05

.....

新たな安定利回り投資

07

.....

安定利回り投資の注意点

08

.....

安定利回り投資の活用法

09

.....

人気のサービス

11

.....

まとめ

12

.....

具体的な始め方

13

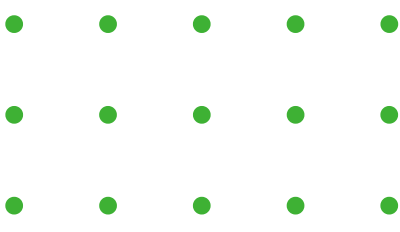
.....

お役立ち情報

14

.....

おわりに



安定利回り投資とは？

安定利回り投資とは

「保有しているだけで定期的にリターンが出る資産」に投資すること。

比較的安全な資産に投資をすることで、**利息や配当などのインカムゲイン**を得ることを目的とする投資です。

NISA（つみたて投資枠）との違い

NISAは、**将来のための資金作りが主な目的**です。

したがって、中長期的な目線で投資を行い、複利効果を用いてお金を増やすことが大切です。

それに対して安定利回り投資の大きな目的は、**インカムゲインを得て、今の生活を豊かにすること**です。

そのために、配当や利回りを得て、“今使えるお金を増やす”ことが目的となります。



言わば、「お金のなる木」を育てることだね！



安定利回り投資の種類

安定利回り投資は、配当金の受け取りで高い利回りを得る「高配当株」と、長期の保有によって決められた利息を得る「債券」が主流です。

高配当株

メリット

- 配当として安定した収入を得られる
- 株価が急落する可能性は低い

デメリット

- 減配や無配の可能性がある
- 株価が下がるリスクがある

債券

メリット

- 満期保有で元本が返ってくる
- ポートフォリオを分散できる

デメリット

- デフォルト（債務不履行）の可能性がある
- 利回りが低い

一般的に**配当利回りが4%以上**の銘柄が、高配当株と呼ばれます。高配当株として人気なのは、「日本たばこ産業」「商船三井」「日本電信電話」などです。

また債券の種類として、国が発行する国債、地方公共団体が発行する地方債、会社が発行する社債があります。

債券は安全性が高いもののほど利回りは低く、日本国債の利回りは0.5~1%程です。

新たな安定利回り投資

高配当株や債券の他にも、近年「投資型クラウドファンディング」が注目を集めています。

投資型クラウドファンディングとは



クラウドファンディングは、高配当株や債券に変わる新たな投資商品です。

クラウドファンディング事業者は**運用期間・想定リターン・投資先**を明示したうえで投資家から資金を集めます。

※事業者は「金融商品取引法」にのっとり、「第二種金融商品取引業」など特定の免許が必要になります。

運用終了時に、**投資家は元本＋利息を受け取ることができます。**

高配当株・債券との違い

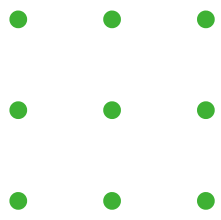
①値動きがない

高配当株と違い、クラウドファンディングには日々の値動きがありません。運用期間は半年~2年程のものが多いため、債券と同じ感覚で投資できます。

②利回りが高い

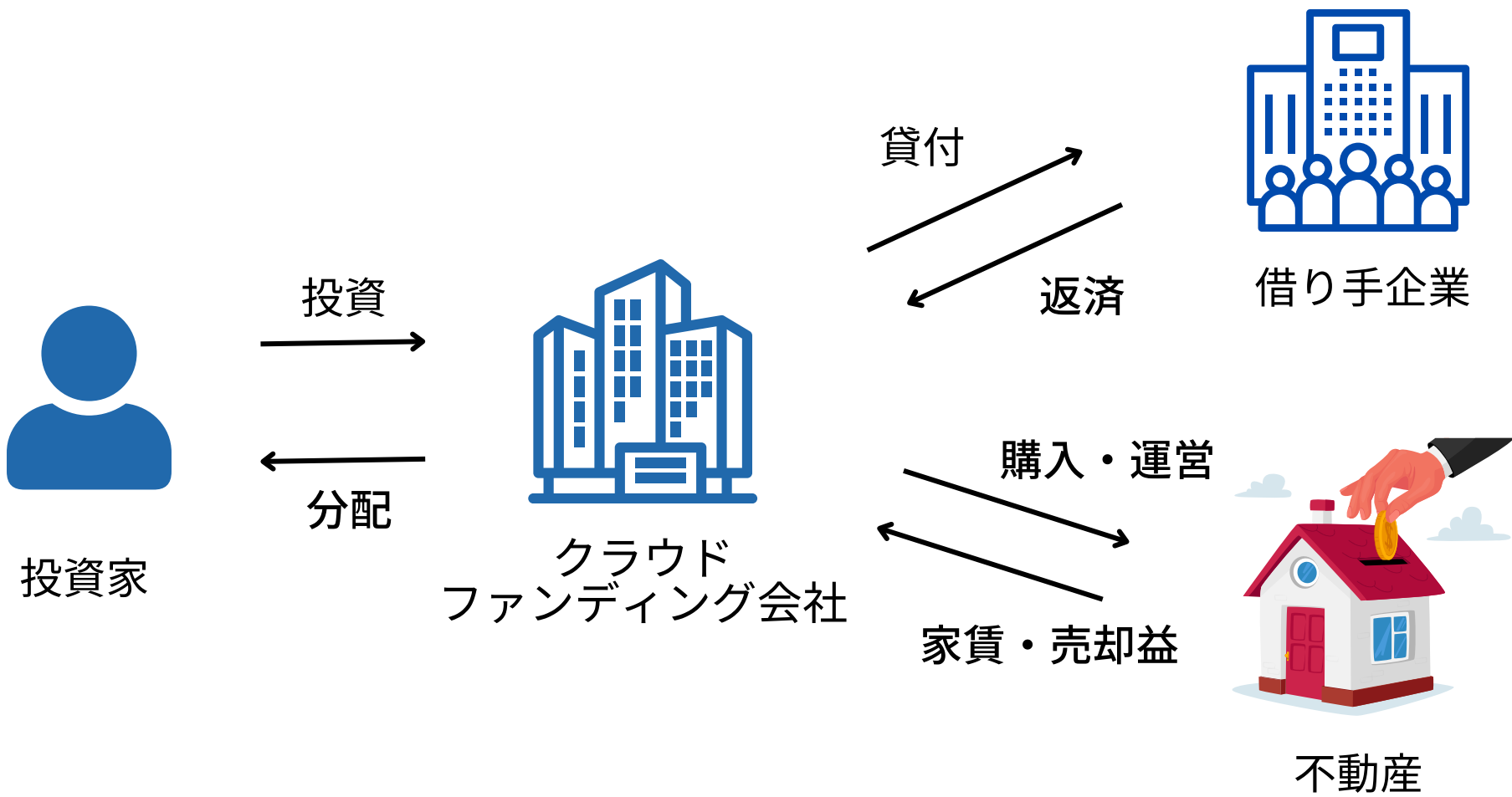
債券と違い、クラウドファンディングは平均利回りが幅広いです。1-3%程のサービスもあれば、5-10%程のサービスも多くあります。

新たな安定利回り投資



融資型と不動産投資型の違い

投資型クラウドファンディングには“**融資型**”と“**不動産投資型**”があります。



融資型は投資家から集めた資金を企業へ貸し付け、貸付先からの金利返済を投資家への配当原資とします。

不動産投資型は不動産を購入・運用します。家賃や売却益などを投資家への配当原資とします。

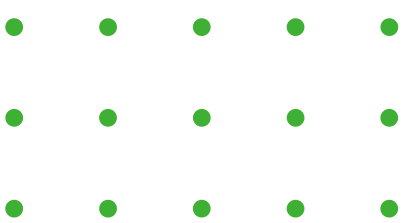
投資型クラファンのメリット・デメリット

メリット

- 高い利回りが期待できる
- 運用の手間が少ない
- 実績豊富なサービスも多い

デメリット

- 投資なので元本保証はない
- 利益に税金がかかる
※約20%が源泉徴収



安定利回り投資の注意点

分散投資を意識する



「安定した利回りが得られるなら安心！」
と考えて**集中投資**を行うのはNGです。

利回り自体は安定して得ることができますが、**元本が保証されている訳ではありません。**

安定利回り投資だけに集中するのではなく、様々な投資先に分散投資を行うことでリスクを抑えましょう。

資産が少ない場合は向かない



元本となる資産が少ないと、得られる金額は少なくなってしまういます。利回り投資では“**入金力**”が一番大切です。

資産が少ない場合は利回り投資ではなく、**複利効果を利用して資産を増やすことを優先**しましょう。

NISAでの積立投資のように長期積立投資をすることで、複利効果を享受できます。



利回り投資は既にある程度の資産・貯金がある人向け！まだ投資をしていない人は、まずはNISAでの積立が大事だよ。

安定利回り投資の活用法

貯金の一部を投資する



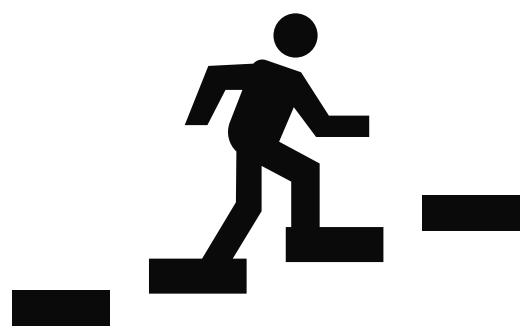
元本の変動がない資産なら、定期預金と同様の感覚で投資できます。

債券やクラウドファンディングの場合、**元本は変動しません。**

株式投資のように**価格変動を気にする必要がないので、銀行の定期預金と近い感覚**で投資ができます。

※預金と違い「元本保証」ではない点は要注意！

年齢に応じて積立投資からシフト



年齢が上がるまではNISAを活用し、**50代～60代頃に安定利回り投資にシフト**することでリスクを抑えられます。

若いうちにNISAを活用する事で、複利の力を使って資産を増やすことができます。そして**資産が貯まってから安定利回り投資に切り替えることで、リタイア時の株価変動リスクを抑えることができます。**

NISAを終えるタイミングで株が暴落してしまう可能性もあるので、心配な方は少しずつ安定利回り投資に切り替えていくのもOK！



NISAやiDeCoと組み合わせることで、分散投資かつリタイア時の株価下落リスクを低減するのがポイント！

クラウドファンディングを始めるなら

融資型で人気のサービス

まずは以下3つのサービスに登録しておけばOK。
登録しておくで、気になるファンドがある時にすぐ応募できます。



手数料無料で、1円から1円単位で投資できる点が魅力的。

上場企業の案件が豊富で安全性が高い反面、利回りは2~4%の案件が多め。

[>>限定の口座開設キャンペーンを実施中](#)



平均利回りは**4~12%と高水準**。 ※2022年4月~2024年4月末のデータ
利回りや運用期間が多様なファンドが多いため、好みの
ファンドを見つけやすい点も人気。

元本償還率も100%と安心できるサービス。

※2024年4月30日時点までに募集を行ったファンドの実績

[>>限定の口座開設キャンペーンを実施中](#)



金融・不動産のプロが厳選したファンドが多く、手堅い
投資が特徴的。

実績利回りは4.2~11%、元本償還率も100%。

※利回り：2022年9月1日から2024年4月5日までに募集を行ったファンドの税引前の年率

※元本償還率：2024年4月5日までに募集を行ったファンドの実績

[>>COMMOSUSの安全性や評判をまとめた記事](#)

● ● ● ● ●

● ● ● ● ●

● ● ● ● ●

クラウドファンディングを始めるなら

不動産投資型で人気のサービス

COZUCHI

不動産投資型クラファンの中でも、**累計投資額No.1**。
リターンに上限がないため、**予定利回りよりも高いリターンが得られることも**。

クラファン投資家から絶大な人気を誇るサービス。

[>>限定の投資家登録キャンペーンを実施中](#)

LEVECHY (LEVECHY)

倒産隔離など、**投資家保護に力を入れている**サービス。
累計応募金額は142.4億円と人気を集めていて、**利回りも6%～12%の実績**がある。

[>>限定の投資家登録キャンペーンを実施中](#)

利回り不動産

案件数が豊富で、独自のコイン制度があるのが特徴的。
満室保証（マスターリース契約）や優先劣後出資を採用して安全性を高めている。

[>>限定の投資家登録キャンペーンを実施中](#)



いろはにマナーでは、
各社の最新ファンド情報を一覧にしたページも毎週更新しています。

[>>一覧ページはこちら](#)

まとめ

安定利回り投資では、配当などのインカムゲインを得ることが目的で、**高配当株や債券が有名**。
近年は、「**投資型クラウドファンディング**」も人気を集めている。

クラウドファンディングは利回りが高く、運用期間も半年~2年程と豊富なのが特徴的。
高配当株のように値動きはないのに、債券よりも利回りが高い。
投資のため、元本保証ではない点は注意。

安定利回り投資でも分散投資は重要。
また資産が少ない場合は、NISAなどで積立投資を行って資産を増やすのが最適。

クラファン投資は元本の変動がないため、定期預金の感覚で投資できる。

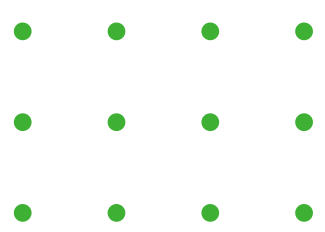
※投資なので、元本保証ではありません。

また、年齢が上がった段階でNISAの積立投資から安定利回り投資にシフトすることで**株価下落リスクへの対策**になる。



次のページからは、「具体的に投資を始める方法」「安定利回り投資を成功させるための情報」を掲載しています★

具体的な始め方



①クラウドファンディングサービスに登録する

まずはクラウドファンディングサービスに投資家登録しましょう。最近クラファン投資が人気なため、すぐに応募で埋まってしまったり抽選に外れてしまうことも多いです。そのため、**複数サービスに登録しましょう。**

本書籍のP9-10で紹介しているサービスは特に人気なので、登録しておくといいでしょう。登録手数料などはかかりません。



登録はスマホで簡単にできます。
登録するだけでAmazonギフト券がもらえるサービスも多数あります！

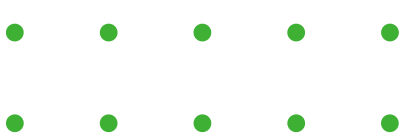
②新着ファンド情報を見る

クラファンでは毎週のように新着ファンドがリリースされます。利回りや運用期間が違うため、新着ファンドを確認して「これが良い！」と思えるファンドを見つけましょう。

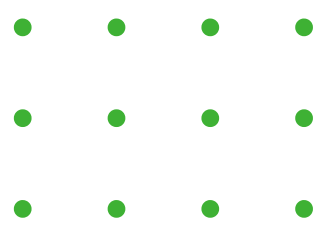
新着ファンド一覧は[ここから](#)見れます。また、いろはにマネーではクラウドファンディングの新着情報を[メルマガで受け取る](#)こともできます。

③投資する

お気に入りのファンドが見つかったら応募しましょう。ファンドによって抽選・先着があります。



お役立ち情報



クラウドファンディングとは？

仕組みや種類を分かりやすく解説しています。

[>>ここから読めます](#)



高配当投資の始め方セミナー

過去に開催したセミナー動画・記事をご覧ください。

[>>ここから見れます](#)



【徹底比較】不動産クラウドファンディングのおすすめランキングTOP10

[>>ここから読めます](#)



お悩み相談チャット"いろは"

投資に関する相談・用語検索ができます。

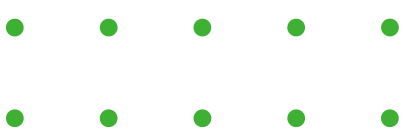
[>>ここから使えます](#)



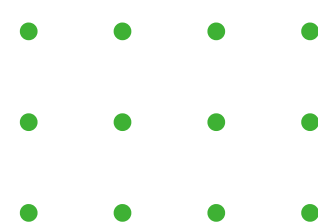
いろはにマネー📁投資・お金の知識

定期的にライブ配信を実施しています。チャットで質問をすると、編集長の曾根原や当社所属のアナリストが直接ライブにて回答します。

[>>チャンネル登録はこちら](#)



おわりに



いろはにスマホブック「安定利回り投資術」をご覧いただきありがとうございました。

本書が、いろはにマネーのコンセプトである「**30年後の安心、今日から育てよう。**」を実現するための一助となれば幸いです。



「いろはにマネー」は株式会社インベストメントブリッジが運営する、未来のためのお金と投資がわかるプラットフォームです。NISAや個別株、IPO、お得なクレジットカードなど「お金に詳しい人になれる」様々な情報を取り扱っています。



[@IrohaniMoney](https://twitter.com/IrohaniMoney)



[いろはにマネー](https://line.me/j/join/irrohani)



PODCAST

[いろはにマネーの「ながら学習」](#)

執筆：いろはにマネー編集部

当サイトの内容、テキスト、画像等の無断転載・無断使用を固く禁じます。

また、まとめサイト等への引用も禁じます。

情報は2024年7月時点のものです。

本書籍は特定の商品への投資を推奨するものではなく、情報提供を目的としたものです。投資は各自の判断・自己責任にてお願いいたします。

Copyright(C) Investment Bridge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

